愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	舩木 恵一	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「メディアとコンテンツ」、「ビジネス戦略とマーケティング」の領域をさらに深めます。前期において考察した様々な事案やテーマを深堀したり、学生が自らが設定した研究テーマや課外活動に具体的したり、個人またはグループによる様々な活動に実際に取り組みます。活動を通じて実体験を増やし社会人として活躍できるセンスや知見を増やします。さらに卒業論文の執筆を開始し、後期終了時に3,000～5,000字程度の完成を目指します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	引き続きアクティブラーニングを主体とします。①様々なテーマに関するディカッションやディベート、②学生主体の雑談、③個人の研究や進路に関する進捗報告、④課外活動への参加。課外活動とは、大学祭、他演習との交流、コンテント等へ挑戦や学会での学生発表などを指します。後期終了時点において、個人の研究のテーマ設定にもとづき、卒業論文の執筆に取り組み、3,000から5,000字到達をゴールにします。下記の授業設計はゼミ内で討議の結果、順序や頻度が変更される場合があります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	前期振り返りと夏季の活動報告。後期ゼミの取組と日程確認。メンバー交流及び個人面談の日程調整。	演習の狙いと後期の到達目標の再確認。課外活動に関する協議、大学祭や就活の主要日程とQ&Aを行います。個人面談の日程（4～5月上旬）を設定します。	□
第2回	ブランドピラミッドって何？　マーケティングが上手い企業とはどんな会社？	ブランドの価値構造、マーケティングとブランディングの違いなどを確認した後、進路選択における企業の見方について意見交換を行う。①と②	□
第3回	アイデア発想法にはどのようなものがあるのか？ news headline, brand cap,など	グループに分かれて、アイデア抽出のブレーンストーミングに挑戦します。外資系企業が持ちいるアイデア出しの手法を体験します。①と②	□
第4回	リーダーシップとフォロワーシップ	現代社会における組織とリーダーシップについて、リーダーに求められるスキルと学生自身の取組課題について意見交換を行う。①と②	□
第5回	学生同士のフリーディスカッション	第２回～第4回で討議した内容について、グループ及び個人で、深堀したいテーマや研究対象、興味のある研究対象の発表を行う。③と④	□
第6回	学生同士のフリーディスカッション	前週に続き、具体的な活動を設計したい、学生主体のディスカッション＆雑談を行う。②、③と④	□
第7回	課外活動①	例：大学祭参加、留学生交流、スポーツ活動などの課外活動を学生が計画して実行する	□
第8回	自分は強みと弱みは何か？　自己診断を試みる	キャリア活動の一環として、来るべき就職活動への最初の準備として、自己分析・他者分析を試みる。②	□
第9回	ビジネスで今必要な新常識を考える。働き方改革とは？	改正入管法、BYOD、モチベーション3.0、多様性と包摂性など、働く環境に関する話題を理解する。①と②	□
第10回	好奇心を増やすには？　CESやSWSWって何か？	スマホでの検索だけで知識は深まるのか？　経済やエンタメ情報を素早く知るには何が有効か意見交換と討議を行う。①と②	□
第11回	学生同士のフリーディスカッション	第8回～第10回で得た新たな視点や意見をもとに、ぐるープ及び個人で、深堀したいテーマや研究対象、興味ある課外活動のアイデアを協議する　②、③と④	□
第12回	課外活動②	国際交流、学会発表、企業訪問、文化活動などの課外活動を学生が計画して実行する	□

第13回	ディベートに挑戦する	面接や会議で、分かり易く説得しやすい思考や論理的な話法に挑戦。ゼミで２～３テーマのディベートを行う。①と②	□
第14回	ディベートに挑戦する（パート２）	前週に引き続き、ゼミで２～３テーマのディベートを行う。人前での話し方のレベルを向上させる。①と②	□
第15回	卒業論文報告	卒業論文の一部、3,000字程度を完成させ、各自報告を行う。③	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回のテーマに関して授業前に予習や準備活動を行います（2時間程度）。演習終了後はその週の活動に関する自己評価をグループチャットを通して各自が行い、メンバー間での課題の共有化、改善ポイントに関する相互認識を促進します（2時間程度）。欠席者はそのグループチャットを見ることでゼミの内容を補うことができます。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

LMS（microsoft teams）を通じて、自己評価に関して必要に応じてコメントやフィードバックを行います。また、ゼミ時間内での質問に加え、個人のチャットでの質問を受け付けます。さらに、オフィスアワーを利用して研究室にて面談することも可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	**◆ 2021地域ビジネスDP2**	ゼミ活動を通じて、企業経営を社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。
主体性	**◆ 2021地域ビジネスDP3**	ゼミ活動を通して、さまざまな個性・利点・問題点を抱えた地域におけるビジネスを通じ、多様な人々と協働し、地域とのつながり、地域社会の活性化・発展できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

アクティブラーニングの①～④の取組に関して、積極性・貢献性ともに、研究や課外活動において自主的な役割分担・意思を持ち、成果として自己の意見の表明や、発表の内容などの学修態度と成果、さらに事後の自己評価の状況、卒業論文の取組状況などを総合的に判断します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。参考資料は必要に応じて講師が用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		